

くまがや自治連だより

# ひろば

創刊号

## 祝「ひろば」創刊号

旧熊谷市自治連だより「ひろば」の伝統を引き継ぎ、新「ひろば」が誕生しました。自治会の主役は地域住民であり、自治会が市政発展のかぎを握ると言っても過言でないと思います。

新「ひろば」は、市民の自治会活動を推進し、市の発展を願う住民の力をアピールできるものと思います。

自治会活動を通して一人ひとりが「自分たちの自治会は自分たちで」を合言葉として、新熊谷市のまちづくりにも全力で取り組みます。

「ひろば」の発刊にあたり、今後の充実発展を限りなく願うものです。

### 発刊にあたって



熊谷市自治会連合会 会長 小澤忠治

今年四月に旧熊谷市・旧大里町・旧妻沼町の住民自治組織が一つとなり、新しい「熊谷市自治会連合会」がスタートいたしました。おかげをもちまして活動も順調に伸展しており、感謝にたえない次第でございます。

さて、この「くまがや自治連だより ひろば」は自治会連合会や単位自治会の活動、そして歴史など、それぞれの地域をもっとよく知っていただくために発刊いたしました。住んでいる地域をより良くしていくために何をしたらよいのか、皆様で考えるきっかけにさせていただければと思っております。

明るく住みよい地域づくりのため、旧熊谷市自治会連合会での会長職の経験を活かし、全力で職務に取り組む所存でございますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。発刊のあいさつとさせていただきます。

### 発刊によせて



熊谷市長 富岡清

市民の皆様には、日頃から市政各般にわたり、ご支援・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。このたび、新たな熊谷市自治会連合会の広報紙として「くまがや自治連だよりひろば」が創刊されましたこと、心からお祝い申し上げます。

さて、今夏は市民・企業・行政が協働して行った「あついで！熊谷」事業がマスクミ等に数多くとりあげられましたこと、記憶に新しいところでもあります。気温の暑さだけでなく、人の心も熱い、積極的なチャレンジをする市民が集うまちとして、新しい熊谷市を発信することができました。

新市として一体感を持てるまちづくりを市民の皆様と行政が協働して取り組んでまいりたいと思っておりますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、自治会連合会ますますのご発展をお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

## 皆さんの地域の自治会長を紹介します

副会長	会長
小澤 忠治 (南区)	小澤 忠治 (南区)
田島 武 (中央1区)	
鈴木 半禄 (中央2区)	
池田 和好 (中央3区)	
黒澤 啓 (東区)	
岡田 澄夫 (西1区)	
富田辰之助 (西2区)	
中澤 真也 (北区)	
小林 芳雄 (妻沼地域)	
江森 忠男 (妻沼地域)	
高橋 洋一 (大里地域)	

### 中央1区

平成十八年九月現在  
※色付は地域連合会長

自治会名	会長名
銀座一丁目	服部 忠夫
銀座二丁目	小林 良司
銀座三丁目	内田 茂平
銀座四丁目	内田 良治
銀座七丁目	八木澤 幸
住吉町	平 辰雄
末広	内田 宏
銀座第8	黒澤 秀夫
県営熊谷銀座団地	五十嵐 誠
筑波第1	中村 稔
筑波第2	藤田 恒好
筑波第3	吉田 安夫
筑波第4	中村 元雄
筑波第5	小池 正雄
筑波第6	小林 陽能
筑波第7	高橋 徳夫
桜木町	細川 末廣

### 中央2区

連合組織を持たない自治会

自治会名	会長名
宮町第1	小沼 博靖
宮町第2	重竹 淳一
宮町第3	大塚 洋子
宮町第4	井田 里子
宮町第5の1	宮城 道明
宮町第5の2	釘持 六男
宮町第6の1	松島 恒
宮町第7の1	塚本 英男
宮町第7の2	内田耕一郎
宮町第8	西村 栄

### 中央3区

連合組織を持たない自治会

自治会名	会長名
石原二丁目第1	小堀 兼一
石原二丁目第2	根岸 芳男
石原二丁目第3	神庭 好三
石原三丁目第1	田島 真雄
石原三丁目第2	長島 俊夫
石原三丁目第3	松本 典雄
石原第4	池田 和好

### 東区

連合組織を持たない自治会

自治会名	会長名
石原一丁目	飯田 健策
石原石原住宅	鳥居 孝晃
田原町	石川喜代一
月見町一丁目	橋本 茂男
本石一丁目第1	吉野 正平
本石一丁目第2	関口 和好
赤城町一丁目	渡辺達四郎
赤城町二丁目	大谷 武
赤城町三丁目	平子 茂
太平洋セメント 月見町社宅	高橋 章介

自治会名	会長名
上石	佐藤 恒夫
上石第1	赤岩 功
上石第2	高橋 薫
上植木	宮下 良夫
坪井第1	塚越 健一
坪井第2	坂本 健一
田町	瀧澤 繁夫
中植木	松崎 秀夫

自治会名	会長名
本石二丁目第1	増山 一郎
本石二丁目第2	皆川 徳一
本石二丁目第3	笠原 秀雄
本石二丁目第4	齋藤 正義
本石二丁目第5	北田 政男



# わが自治会

## ◆妻沼地区自治会連合会◆

会長 小林 芳雄

旧妻沼町は五地区八五単位区長会があり、それが合併後五自治会連合会(妻沼地区 長井地区 秦地区 男沼地区 太田地区)として発足しました。妻沼地区自治会連合会は三一自治会約三二〇〇世帯、二小学校区をもち、各自治会が地域住民と手を結び地域づくり活動を推進しています。その活動の原動力として地区自治会連合会の活動が欠かせないものとなっています。

自治会連合会の活動内容としては、

- 一、地域とのふれあい活動
- 二、研修

その一

地域とのふれあい活動

聖天春秋祭りの奉納児童相撲大会に自治会長役員として全員参加、大会は年二回開催 毎回小学生各地域から二百名近く参加します。地域の子どものふれあいを通し、安心・安全な街づくり、活動を通し情報交換、連携を深めています。



奉納児童相撲大会 自治会役員

その二

めぬま祭りに、自治会長が全員参加し、幼稚園児と一緒に「鉾」の引き回し園児とその親とのふれあい。祭り終了後全員で会場清掃、きれいな街づくりそのほかに、ごみ集積場の見回り、子どもの登下校時刻ふれあいパトロールを実施しています。



自治会長が全員参加した めぬま祭り

研修

自治会長自らの研修

議会傍聴・旧町政報告意見交換陳情・五地区合同県外研修・各地区別県外研修を実施してまいりました。今後も引き続き市自治連合会の研修会に参加していきたいと思えます。

敬老会(地区自治会連合会として新行事)

毎年行政が中心となって開催してきた敬老会を今年から、民の手で実施することになりました。長年社会のため貢献した方々を招待し高齢長寿をお祝いしようということで、自治会長が中心になり開催する事になりましたが、いざ実施になると計画・立案・運営等々難問が山積、三一名の自治会長が何回も話し合いをし、行政からの助成金、各地区からの負担金を頂き開催、なお、地区担当の民生児童委員一九名婦人会十名の協力を頂きました。

対象招待者八一〇名を二日間に分け開催。自分達の街を支えてくれた方々への感謝と高齢者の交流親睦、そして、各自治会の連携をより一層深めました。

この活動を通して自治会相互の連絡協調を図り地域住民の福祉の向上、安心、安全な街づくり心のふれあう自治会の円滑な運営に努め、新熊谷市発展のため大きく前進をめざします。



妻沼地域五地区合同県外研修 意見交換風景

# 後世に語り継ぎたい

## 秦地区自治会連合会

会長 江森 忠男

寶積山 白道院 大龍寺(だいらりゅうじ)

(宗派 浄土宗)

所在地 熊谷市葛和田八九八番地

大龍寺は、JR熊谷駅より国際十王バス葛和田行きに乗り、天王店で下車し徒歩一分のところに位置する。

近くには、利根川が流れ、河川敷にはグライダの滑空場がある。また、古くから使われている渡船場があり、この地方もかつては宿場町として栄えた時代もあった様子がうかがえる。現在でも細々とではあるが群馬県と往来する人々や最近では観光目的で乗船する人も増えている。

このようなどこかな場所に位置する大龍寺は、慶長十年(一六〇五)江戸時代の学僧幡随意上人によって開創された。幡随意上人は、熊谷寺の中興の祖であり、また徳川家康とも交流があった僧侶として有名である。その後、慶長二年(一六四九)



大龍寺本堂

には御朱印二十石を賜るなど、歴代將軍の護持も篤く堂宇も廣大、壮麗であったと伝えられる。

明暦三年(一六五七)暴風のため本堂が大破し、寛永六年(一六六六)によりやく改築した本堂も、文久三年(一八六三)五月の雷火のため

庫裡、鐘樓等を含め焼失し、以来、庫裡を仮本堂としていたが、昭和三十三年に二十九世達譽俊定が再建し、現在に至っている。

大龍寺は、館林善導寺末とされ、本堂、不動堂、薬師堂、鐘樓、命体堂(念仏堂)、庫裡客殿等からなる。本堂には、本尊阿弥陀如来を中心にして、三十三体観音像を安置している。

歴代住職の中では、十一代尋譽弁秀上人が、易徑に詳しく五代將軍徳川綱吉にその学識を認められ、將軍易徑講釈の座に召されたことが文書として残っている。また、二十五代審譽察源上人は、文久三年論語から「行余書院」と命名した寺子屋を開設し、近村子弟に学問を教えた。その中に当地出身で日本の女医第一号荻野吟子がいた。

最後に文化財であるが、前述の元禄年間に造られた三十三体観音像と、開山幡随意上人の書かれた山号、名号、書状が残っている。

大龍寺の草創には、次のような伝説が残っている。当時この村は行田の忍城主成田氏の家臣、島田



三十三体観音像

委女正が治めていた。委女正は多くの村人と共に伊勢参宮をすることとなり、江戸から海路をとつての道中に、海龍が現れ船足が止まってしまった。そこで永く龍神の霊を慰めることを念じたところ静めることが出来た。かくして委女正は、無事参宮をすませ、名僧の誉れ高い幡随意上人を開山に仰ぎ、村人たちの協力をえて遂に一寺を建立した。これが大龍寺である。

(資料提供 第三十一世住職 智譽道孝氏)



本尊阿弥陀如来



# わが自治会

## ◇小八林自治会◇

会長 福田 国忠

私達の住む自治会のエリアは、大里地域でも一番南に位置し、県道吹上、東松山線に沿って東西に細長く、東に荒川や和田吉野川などがあり、南に吉見町、西は東松山市に接しています。

地区のほぼ中央に大明神坂といわれる坂があり、坂の上側に一三〇軒、下側に一三〇軒ほどの家が建ち並んでいます。そして、多くの田畑や木々に囲まれた自然豊かな地域です。

坂の下側の人々は、毎年台風の時期になると水害に悩まされてまいりましたが、行政、地域住民の方々のご努力により和田吉野川には立派な水門、通殿川には排水設備が完成し、水害に悩まされることも無くなり、皆が安心して生活出来る様になりました。

また、高台には地域の人々に親しまれてきた春日神社があります。平成一二年七月に落雷により焼失してしまいました。区長をはじめ、氏子また建設役員の努力により平成一三年一〇月に新たに立て直すことが出来ました。

この神社には、昔の人々が残してくれた立派な神輿が保管されています。昔は夏祭りと言えば、この神輿を担いで回り多くの人々が賑わっていました。徐々に担ぎ手が少なくなり、車に乗せて地域を回るだけとなりました。しかし、昨年より地域おこしの一環として子供達による太鼓叩きや子供神輿、流し踊りをはじめ、会場には様々な屋台を設置し、



八坂神社大祭 (天王様)



八坂神社大祭 子供達



八坂神社大祭 流し踊り

子供からお年寄りまでが集まって昔の賑わいを取り戻しつつあります。

春には神社の周りにある桜が満開となり、とても美しく綺麗です。今年は更に地域の皆様のご協力により二五本の苗木を植え、今後は益々見応えのある桜が見られるようになると思います。是非、一度足を運んで見て下さい。

また、最近では子供を対象とした犯罪が多発している為、私たちの地域でも犯罪の無い地域を目指し、七月からは自治会員一五名が中心となり防犯パトロールを実施する事になりました。これに当たり、警察署の方々のご協力により様々な指導を頂きました。この地区は小・中学校から最も離れている為、子供たちが犯罪に巻き込まれる危険性が高いと考えられます。子供たちの安全、そして地域の皆様が安心して生活していける様、会員が一丸となり今後も活動していきたいと思えます。



子供会 春のバーベキュー大会

# 後世に語り継ぎたい

## 大里自治会連合会

会長 高橋 洋一

吉見 神社

神社は和田吉野川の右岸の膝喰橋より南西百メートル相上一番地に位置する。当社は『風土記稿』に神明社と載り「古へは上吉見領の総鎮守なりしが各村へ鎮守を勧請して、今は村内のみの鎮守とせり、社の傍にわずかの沼あり、神竜潛み住と言伝ふ、神主須長大内蔵入間郡塚越村勝雅楽が配下なり」と説明している。

上吉見領とは『風土記稿』に見える領名で、村岡、手島、小泉、江川下久保、屈戸、津田、津田新田、相上、玉作、小八ッ林、箕輪、胃山、向谷、高本、沼黒、吉所敷、中曾根、和田、上恩田、中恩田、下恩田、原新田、平塚新田の二三か村である。この二三か村は旧の大里町を中心と熊谷市と江南町の一部に当たり、当社はこのほぼ中央に位置する相上にある。

当社には創建を語る文書が何点か伝えられている。景行天皇五十六年に御諸別王が当地を巡視した折、田野が開かれず不毛の地であることを嘆いて、倭国、山代国、川内国、伊賀国、伊勢国の多くの里人を移して、多里郡（大里郡）を置き後に豊かな



正面に位置する拝殿

地となった報賽として大古に武夷鳥命が高天原から持ち降ったという、天照大神ゆかりの箆を神体として天照大神を祀り、以来、御諸別王の子孫が代々神主としていた、とある。現宮司須長家はこの末である。

『大里郡神社誌』は、旧大里町玉作の須藤開那文書として当社は上吉見領の総鎮守であったが、応永（一三九四〜一四二八）の戦乱により神領を失い、天正の頃（一五七三〜九二）には旧五か村と呼ぶ相上、玉作、箕輪、胃山、小八ッ村の鎮守となったと載せている。因に旧神領は社領七五〇貫の地であったという。

当地には、旧大里町を中心に胃山古墳と呼ぶ南北の経が九〇メートルにも巨大な円墳をはじめ幾つかの古墳がある。これは古代の当地に有力な一族があったことを物語るものである。当社とこの豪族との関係も興味深いものがある。

須長家は、幕政期の当主が従五位位下に叙され土佐守や伊勢の守に任ぜられ、代々有為の人物を輩出している。なかでも七代春友は京都下道家にあつて神道を修め、また医薬の道にも通じ、本那最初の薬方である。『大同類聚方』を持って帰郷し、当地方民の撫育に当つた。

また三七代長盛は、当地を流れる和田吉野川の改修に力を尽しており「膝喰橋の大蛇と愛犬」の伝説の主人公にもなっている。この霊を祀つたのが頭犬宮と於呂知社と称して共に当社に祀られている。このように代々が当地方の発展を図り当社の発揚に尽したところから江戸中



東側よりみた本殿

期には当社の存在は江戸市中にも知られるようになり信仰する人も多くなった。内陣に安置される幣束には「江戸日之出講、文久二年（一八六二）馬喰町、浅草並木町、深川常盤町、大小通油町、大伝馬町細工人鋳師」と刻まれている。嘉永五年（一八五二）十二月には「天照皇太神宮」より社号を「吉見太神宮」と称する沙汰があり改称した。

明治以降、当社の信仰範囲は相上地域に限られるようになってきた。現在の年中行事は、

全氏子の協力のもとに元旦祭、節分祭（二月三日早朝）春例大祭、三社祭（天王様七月十五日）秋例大祭、新嘗祭、大祓が行われる。相上神楽（旧町指定無形民俗文化財）は昭和四十年代から神楽舞が途絶えていたが、平成七年から相上神楽保存会が発足し大祭のおりに囃子とともに奉楽されている。

「新編埼玉県史」「大里村史」「埼玉の神社」より抜粋記載



熊谷市指定無形民俗文化財 相上神楽



境内の住吉、氷川、香取などの末社

# わが自治会

## ◇籠原自治会◇

会長 宗我部 悦功

◇地域のプロフィール

1、旧熊谷市大字新堀一五〇番地、旧熊谷市大字新堀新田五三一番地の通称「籠原団地」内にある。

2、創立は昭和四十四年（三十八周年を経過）

3、会員数 七五〇余戸 七八班

4、自治会周辺の著名施設

市立籠原小学校（創立三十五周年を経過）

籠原公民館、県立熊谷高等技術専門校等のある文教地区である。

5、航空自衛隊熊谷基地の前身である陸軍飛行学校の施設跡

を終戦後開拓農地となり、現在の宅地化が進んだ。

（新堀新田五九二番地に「拓地留魂」の碑がある）

6、自治会名称を平成五年に旧籠原団地第三自治会より「籠原自治会」とする。



平成十八年十月発行

くまがや自治連だより

◇自治会活動とその概要

1、会則と会の運営上特記すべき事項

・総会は、役員と班ごと

に一名の代議員で構成

・役員会は、

2ヶ月に一回定例会で

運営する。

2、コミュニティ

活動（籠原地区連合自治会）

・納涼祭

・敬老会

・体育祭

・球技大会等に

参加している。

3、防犯パトロール

・平成十七年度年末年始

より役員及び環境推進委員と会員有志に呼び

かけて、学童・生徒の登校日午後四時より五

時迄自治会全域をパトロールしています。

構成員は前述の役員の他常に呼びかけを行っ

ています。この他にも、籠原小学校区連絡会

と協調して、オレンジ帽子の「子供安全パト

ロール」にも会員約六十名が登下校の児童の

見守りに参加しています。

4、自主防災会

・平成十七年度より始めた事

業ですが、避難訓練で炊き出しを担当し原始

的な炊事に戸惑いを感じながら参加している

ご婦人が印象的でした。

5、花いっぱい運動

・熊谷市コミュニティづくり市民協議会または、公益信託「熊谷環境

基金」の助成を受け、空地利用で飾花をしています。



自主防災会での炊き出し訓練

## 自治会に加入しましょう!

自治会では新しく熊谷市に住まれる方々、また、未加入の方々に、自治会への加入をお勧めしています。

熊谷市の自治会は、現在三百四十二の単位自治会で組織されています。

各自治会とも、自分たちの住むまちを明るく住みよい環境にするため、いろいろな行事や活動を行っています。

また、活動を通してより良いコミュニケーションを図るよう努力しています。

自治会はあなたの参加をお待ちしています。



## 編集後記

「ひろば」創刊号をお届けします。

富岡清熊谷市長様、小澤忠治連合会長様には示唆に富んだ玉稿をいただき、誠にありがとうございます。

新「ひろば」は内容も広く、それぞれ工夫がなされ、各自治会の活躍ぶりがうかがわれます。

お互いにより刺激を与えていただき、そして、今後の活動の原動力になることを祈ります。

「ひろば」の更なる充実を図っていきたく思います。

寄稿を頂いた方々に厚く感謝申し上げますと共に、各自治会のご活躍・ご発展をお祈りいたします。

文化広報部 部会長 小林芳雄

発行所 熊谷市自治会連合会  
(事務局 熊谷市宮町二丁目四十七番地一)

熊谷市役所市民活動推進課内